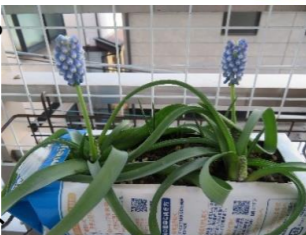


舎人にも春がやってきました！

舎人あかしあ園では春に向けて気持ちが晴れやかになるよう花を咲かせようとしています。

2階では牛乳パックを使い、チューリップやムスカスを育てています。

土に触れ、匂いを感じながら取り組み、無事に咲き始めています。



3階ではペットボトルを使い、水耕栽培を行いました。根が伸びる様子を見守りながらチューリップを咲かせる事に成功しています。来年度も利用者の皆様が楽しめるよう様々な活動に取り組んでいきます。(記:荒井)

研修報告

内部研修

- ・2月17日 より良い関係を築こう～「スノーズレン」から考える日本スノーズレン協会 尾本重治 氏
- ・2月22日 リフト研修

外部研修

- ・1月10、11、12日 強度行動障害支援者養成研修(リモート)
- 3月2、3日 6、7日 舎人あかしあ園から3名参加



リフト研修

舎人あかしあ園ではノーリフトの一環としてリフト研修をしました。「ノーリフト」と聞いて、「なにそれ？」と思う方もいると思いますが、ノーリフトとは「被介護者の体を介護者の力だけで持ち上げないでおこなう介護方法のこと」です。持ち上げない方法として、リフト、スライディングシート、スライディングボードの活用や介助者の姿勢(体の使い方)も大切になってきます。持ち上げないので介助者の腰痛予防や利用者の方の体の負担や側弯の予防にも繋がります。今回は、正しいリフトの使用法とスライディングボードの使い方を行いました。

実際に、職員もリフトの体験もしています。(記:堀内)

編集後記

一年間『人舎人』をご覧頂き、ありがとうございます。次年度から担当も変わります。それに合わせて紙面や発行回数も変更になる予定となっています。次年度も舎人あかしあ園をよろしくお願いいたします。(記:荒井)



ひと舎とひと



社会福祉法人あいのわ福祉会

Social Welfare Juridical AINOWA Organization

〒121-0832 東京都足立区古千谷本町2-25-11 TEL03-3854-1741 FAX03-3854-1742

社会福祉法人あいのわ福祉会 舎人あかしあ園 発行責任者 市原純哉

第33号

令和5年3月30日発行

施設長より

すっかり春めいて、桜の開花が待ち遠しい今日この頃ですね。

令和4年度も、皆さまのご支援・ご協力により無事に過ごすことができました。やはり新型コロナウイルスの蔓延に始まり新型コロナウイルスの感染対策に終始した1年のように思います。3月13日からは厚生労働省からの方針により、マスクの着用についての緩和策が打ち出されましたが、舎人あかしあ園では引き続き感染症対策の一環として職員のマスク着用及び着用できる利用者の方へのお願いをしていく事としました。

しかしながら、場面による緩和や、自粛していた活動の再開など、今までのコロナ禍とは違った取り組みも同時に行うなど、少しずつではありますが通常の生活に戻れるようにしていきたいと考えております。

紛争や物価高騰など、暗いニュースが多い中ですが、桜のように明るく晴れやかな気持ちで新年度を迎えられるようにしたいと思います。(記:施設長 市原純哉)

主任より

「憧れる存在」admire



この時期には、新たな一歩(職場)を踏み出す方が多いかと思えます。今回は、昨年、私が舎人あかしあ園での一歩を踏み出すにあたり思っていたことを聞いて頂きたいと思えます。

あなたの「憧れる人、憧れるヒーロー」は誰ですか？皆さん誰も一人はいるのではないのでしょうか。平和を守る正義のヒーローやヒロイン、素晴らしい演技で魅了する俳優、容姿端麗のモデル、一流のスポーツ選手など憧れの対象は様々です。最近、気になるのは「ちょ、待てよ」の木村拓哉さんです。憧れるのは心理学では、「同一化」というそうです。自分に とって理想的な対象を見つけて行動や服装、表情などを真似することによって、その相手と一体化した気持ちになる事を指すのだそうです。理想とする相手と同じになることで、自分のダメな部分、不安な部分を取り払い、自信を生みだしたい。これが憧れの心理なのかと思えます。

憧れの存在は意外と近くにいるかもしれません。職場に「憧れる上司」とかいませんか？「仕事がバリバリできる成績優秀」だけでは(一定の水準は仕事ができないと示しがつきませんが)憧れる上司にはなれないのではないのでしょうか。いくつか私の中の「憧れる上司(気を付けたいこと)」を挙げてみました。

- ①明るく前向き
- ②器用にこなす
- ③自分の意見を言える
- ④どんな人にも公平
- ⑤清潔感がある
- ⑥時間を意識する
- ⑧感謝の気持ち、気遣いができる

実際は、出来ているかという難しい部分も多いです。上司は選べませんので、憧れではなく理不尽な存在とならないよう気を付けたいです。職場のモチベーションはちょっとした意識と行動に移すことで大きく変わります。相手の求めていることを意識し行動することを心がけたいです。(記:河瀬)

20歳の祝い



1月12日(木)、13日(金)に各グループで20歳を祝う会を執り行いました。今年から成人の年齢が18歳になり、式典の名称を変更して「20歳を祝う会」として、気持ち新たに今後も20歳の利用者の方を対象にお祝いさせていただきます。

今年度は1便グループ 山本怜奈さん、2便グループ 野口花音さんの2名が成人を迎えられました。お二人とも素敵なお着物に身を包み、いつもとは違う緊張した様子で式典に臨まれました。

お祝いのビデオレターでは山本さんは穏やかな嬉しそうな表情をしており、野口さんはお隣に座っていたお父様ににこにここと嬉しそうにお話をされながら観ていたのが印象的でした。

式典が終わり写真撮影に入るとお二人は緊張から解放されたのか、いつものご様子で、山本さんは「ハイチーズ！」と撮影を楽しまれました。野口さんは2便グループの利用者の方々から「綺麗だよ～」や「かわいい！」と祝いの言葉をかけられ照れくさそうにされていました。仲間の絆も感じられるあたたかな式典になりました。

今後もその時に応じた感染症対策をしながら行えればと思います。(記:柳川)

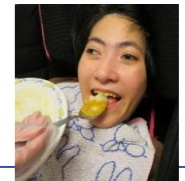


おめでとうございます

1便より



今回は、2月14日のバレンタイン給食の様子をご紹介します。この日は、セレクトメニューでカレーライスとポークハヤシライスを事前を選び、楽しみにしていました。配膳されると、どちらもハート型のご飯にびっくりして「すごい！」と声が聞こえてきて、厨房の方々の愛を感じながら食べました。ハート型のチョコレートプリンにも感動で、入れ物をきれいにして保管し、活動で使うことにしました。おいしい給食に、活動とは違う笑顔が咲き誇りました。(記:高橋)



2便より

体験活動で季節の飾り作りをしました。皆さんのような雑飾りを作るかイメージを膨らませながらそれぞれ個性あふれるお雑様とお内裏様ができあがりしました。

身体づくりではエクササイズ動画を観ながら音楽に合わせて身体を動かしています。皆さん楽しみながら参加していて、終了時間が近づき「もう終わりにしましょうか？」と聞くと「まだまだ頑張れる！」と元よく答えて時間まで目いっぱい身体を動かしています。

リラクゼーションではゆったりとした映像を流しながら各々寝入ったり、横になって映像を眺めたりして身体を休めています。(記:齋藤)



スヌーズレン

スヌーズレン研修開催

スヌーズレンというリラクゼーション空間(暗室に幻想的な照明)をどのように作るのかというイメージが先行してしまいましたが、この研修を通して「治療効果や発達支援を一方向的に求めることはせず、障がいを持つ人の楽しみ方をありのままに受け入れ、一緒に楽しみます。(日本スヌーズレン協会パンフレット抜粋)」という学びを得ることができました。

日中支援活動における「支援」の在り方について、利用者支援を組み立てる上での考え方をスヌーズレンの考えや取り組み事例の学びを通して再構築していく材料となりました。(記:堀)

